



パナセア® 商品ラインアップ



500ml スプレータイプ 50ml ポータブルタイプ 450ml 詰替用 5L 詰替用 20L 詰替用

パナセア® 専用噴霧器ラインアップ



300ml~500ml/1H (~8畳) 4ml~125ml/1H (~8畳) 間欠機能付 10ml~400ml/1H (~20畳) 間欠機能付 40ml~1000ml/1H (~40畳) 間欠機能付/タイマー機能付

保管時の注意事項

- ご使用後は密封状態で冷暗所で保存して下さい。
- 開封後もできるだけ冷暗所で保管して下さい。
- 一旦製品容器から出した液体は戻さないでください。

パナセアは、有効塩素が抜けにくく安定した性能を維持できる製剤です。より品質を安定化させて保存するために光（紫外線）、高温での保存（30℃以上）は避けて下さい。

使用上の注意事項

- 本来の用途以外に使用しないでください。
- 幼児の手の届かない場所に保管してください。
- 塩素系製剤や他製品との混合は一切行わないでください。
- 換気の悪い場所での使用は避けてください。
- 目に入った場合はすぐに水で洗い流してください。
- 口に入った場合はすぐに水を飲み希釈してください。

パナセア製品仕様

品名：除菌・消臭・防カビ剤 パナセア®
 成分：次亜塩素酸ナトリウム0.01%(100ppm)/水 99.99%
 内容量：50ml/450ml(詰替用)/500ml/5ℓ/20ℓ
 用途：

- ウィルスおよび細菌類の除菌(除菌率99.9%) ※15~60秒で除菌
- 厨房内調理器具、食器等の除菌
- 環境省指定の8大悪臭の消臭(トイレ臭/タバコ臭/肉・野菜の腐敗臭等) 室内・厨房等の消臭、靴・ブーツの消臭

品質有効期限：製造日から2年以内、もしくは、開封後1年以内のいずれか早い日まで。
 効果：全ての菌に効果があるわけではありません。また、消臭感性には個人差がございます。

優しい化学の力

家族のために選びたい菌・ウィルス・花粉・ニオイ対策。



Stabilized Unadulterated Sodium Hypochlorite Agent
 Anti-bacterium Deodorant spray

無臭・無害で、水のような透明で肌にやさしい成分でありながら、空間に浮遊するさまざまな細菌やウィルスまで、しっかり分解して除菌。いやな臭いも瞬間消臭し、防カビ効果があります。

除菌率
99.9%

ノンアルコール・無香料

Alcohol-Free / Unscented



優しい化学の力で、しっかりと除菌。 嫌な臭いを瞬間消臭。防カビ効果。

パナセア®の驚きの消臭力・除菌力の秘密は、
「安定型次亜塩素酸ナトリウム」。

赤ちゃんやお年寄り、妊婦さん、受験生や働くパパ・ママ、ペット。
大事な時期に心配なウイルスや細菌、そしてニオイ。

そして、病院や介護施設、保育園など、清潔な空間を保ちたい。

だけど安全性にはもっと気を使いたい。

確かな除菌力、消臭力のために、安心を犠牲にしない。

そして、ニオイに対してニオイでごまかさない。

そんな健やかに過ごす毎日を望むことは、誰しもの願いです。

パナセア®の成分、「安定型次亜塩素酸ナトリウム」は、
特殊技術により、香りの上書きではなく、悪臭物質を元から分解消臭します。

さらに、パナセア®は有機物と反応した後は水に戻ります。
揮発性・刺激性がなく、食品添加物を原材料としています。

安心・安全にこだわり、空間の除菌・脱臭に特化すること。

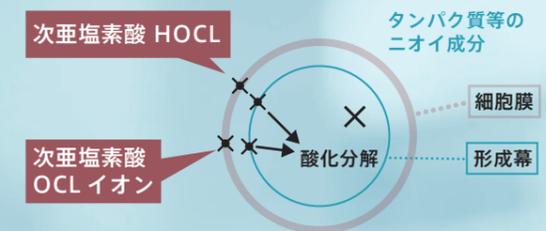
パナセア®は、無害の優しい成分で悪臭や菌・ウイルスから大切な人たちを守ります。



新パナセア®の消臭力

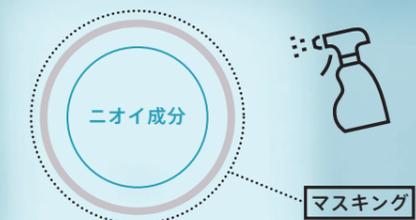
パナセア®は空中浮遊しているウイルス・細菌類およびカビの胞子菌も除去します。

新パナセア®の消臭プロセス



タンパク質等のニオイ成分を酸化分解、
根こそぎ消臭します。

市販の消臭剤の消臭プロセス



空中に噴霧することにより、
ニオイ成分をマスクング(包む)し消臭します。
強力なニオイを完全に除去することはできません。

パナセア®とは

パナセア®は、安定型次亜塩素酸ナトリウムです。

パナセア®の驚きの消臭力・除菌力の秘密は、次亜塩素酸ナトリウムを革新的技術により、アルカリ水溶液中に安定・融合させた「安定型次亜塩素酸ナトリウム」。

様々な分野の菌・ウイルス対策に活躍する除菌成分で、細菌・ウイルスなどに接触した瞬間に不活化され除菌効果を発揮するため、空気中に浮遊するウイルスなどにも有効で、ウイルス・細菌類を平均 30 秒で除菌し、ウイルス抑制力に優れています。また、脱臭効果も高く、ペットや介護環境のニオイなどの発生し続けるニオイにも威力を発揮します。

塩素特有の臭いもなく無臭、塩弱アルカリ性で刺激もなく、無揮発なので手荒れもなく、肌の弱い方や敏感肌の人も安心、最終的にはただの水になりますので高い安全性を両立できます。

パナセア®の特徴

パナセアは特殊技術で様々な菌・ウイルス対策に活躍します。

第三者検査機関における安全性試験で無刺激物と判定
(眼刺激性・経口毒性・皮膚一次刺激性試験)

弱アルカリ性のノンアルコール除菌水です。

香りの上書きではなく、悪臭物質を元から分解消臭。

パナセアは有機物と反応した後は水に戻ります。

揮発性・刺激性がありません。

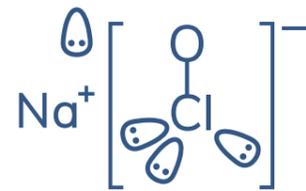
食品添加物を原材料としています。

除菌・消臭・防カビ効果(除菌率99.9%)

花粉対策に

ペット玩具や赤ちゃんのオムツ周りに

リビングや寝室の除菌・消臭に



除菌

ウイルス抑制

脱臭

パナセア®は、施設やオフィス、病院など、幅広く活用できます。

ウイルスや細菌類を 99.9% 除菌

臭いの元を瞬時に無臭化

カビの胞子菌を分解



室内・住居空間



厨房・台所用品



トイレ・ゴミ箱



下駄箱・玄関



靴・ブーツ



冷蔵庫・冷凍庫



学校・保育園



病院等の施設



ベビー用品



クローゼット・衣類



ペット用品



車内

その他にも



花粉対策！

空中に噴霧することにより、
花粉(スギ花粉)を

88.2%低減！



ダニアレルゲン対策！

空中に噴霧することにより、
ダニアレルゲンを

84.9%低減！

厚労省指定 8 大悪臭を消臭

アンモニア
トイレ臭

メチルメルカプタン
肉の腐敗臭

二酸化メチル
野菜の腐敗臭

トリメチルアミン
魚の腐敗臭

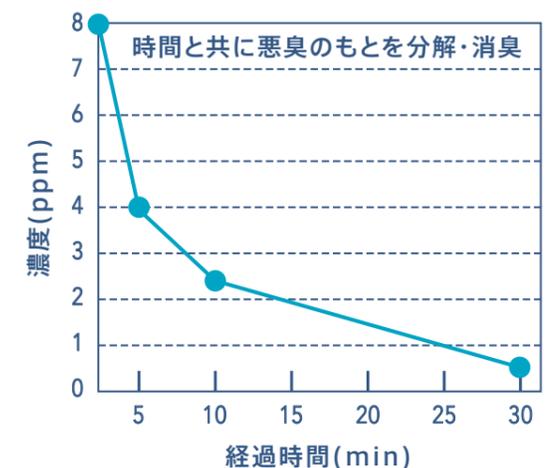
硫化水素
卵の腐敗臭

アセトアルデヒド
タバコ臭

硫化メチル
野菜の腐敗臭

スチレン
プラスチックを
燃やした臭い

メチルメルカプタン8ppm空気量9Lに対する
悪臭物質除去実験





パナセア®は、
赤ちゃん廻り、ペット廻り
でもご利用いただけます。

皮膚
皮膚一次刺激性実験

口
急性経口毒性試験

※「パナセア」は眼刺激性試験、皮膚一次刺激性実験、急性経口毒性試験において「無刺激性」の範疇にあると認められています。

「試験報告書」と「試験成績書」の証

パナセア®は皆様に安心してお使いいただくために、様々な効果試験を行なっております。



安全性について (皮膚一次刺激性実験 / 急性経口毒試験 / 眼刺激性試験)

皮膚一次刺激性実験

人間よりデリケートなウサギを用いた実験で「無刺激性」の範疇にあると認められた。

表-4 皮膚反応の採点結果

観察時間 (時間)	試験動物①		試験動物②		試験動物③	
	無傷	有傷	無傷	有傷	無傷	有傷
1	2/0	2/0	1/0	1/0	1/0	1/0
24	0/0	0/0	0/0	0/0	0/0	0/0
48	0/0	0/0	0/0	0/0	0/0	0/0
72	0/0	0/0	0/0	0/0	0/0	0/0

結果は紅斑・痂皮 / 浮腫の順に示した

急性経口毒試験

人間よりデリケートな雄マウスを用いた実験で異常および死亡例は認められなかった。

表-1 体重変化

投与群	投与前	投与後(日)	
		7	14
試験群	26.7 ± 1.1 (5)	29.4 ± 1.9 (5)	32.1 ± 1.2 (5)
対照群	26.4 ± 0.6 (5)	28.8 ± 0.7 (5)	32.5 ± 1.7 (5)

体重は平均値±標準偏差で示した(単位:g)

括弧内に動物数を示した。

眼刺激性試験

人間よりデリケートなウサギを用いた実験で「無刺激性」の範疇にあると認められた。

表-8 試験動物③の採点結果

観察部位		採点結果			
		1時間	24時間	48時間	72時間
(1) 角膜	混濁の程度 (A)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
	混濁部面積 (B)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
(2) 虹彩	(A)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
(3) 結膜	発赤 (A)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
	浮腫 (B)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
	分泌物 (C)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
評点(1) =	A × B × 5	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
評点(2) =	A × 5	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
評点(3) =	(A+B+C) × 2	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
合計評点	((1)+(2)+(3))	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)

括弧内に対照眼の結果を示した。

- : 判定せず

パナセアは人体に無害です！
無刺激性の液性になるので、赤ちゃんから
ご老人の方、ペット廻りでも安心して
ご利用いただけます。

新パナセア®の食品適合性試験について

「パナセア」は食品適合性試験に合格しており、食品に直接噴霧をしても問題ない安全性を保有しています！

検体名 安定型次亜塩素酸ナトリウム原液

2011年(平成23年)07月28日当センターに提出された上記検体について分析試験した結果は次のとおりです。

分析試験結果

分析試験項目	結果	定量下限	注	方法
次亜塩素酸ナトリウム	—	—	1	—
性状	適	—	1	—
確認試験(1)	—	—	1	—
ナトリウム塩(1)	適	—	1	—
次亜塩素酸(1)	適	—	1	—
次亜塩素酸(2)	適	—	1	—
次亜塩素酸(3)	適	—	1	—
確認試験(2)	適	—	1	—
確認試験(3)	適	—	1	—
含量	適(有効塩素4.3%)	—	1	—
性状(適否の判定基準外)	—	—	1	—
形状	液体	—	1	—

注1 食品添加物等の規格基準(昭和34年厚生省告示第370号)の第2添加物。

除菌効果 I (VRE / 肺炎桿菌 / レジオネラ / リステリア)

抗菌力試験結果

試験菌	対象	生菌数 (/ml)				試験菌	対象	開始時	15 秒後	30 秒後	1 分後
		開始時	15 秒	30 秒	1 分						
VRE	検体	1.1×10^6	<10	<10	<10	VRE	検体				
	対照	1.1×10^6	-	-	1.1×10^6		対照				
肺炎桿菌	検体	6.3×10^5	<10	<10	<10	肺炎桿菌	検体				
	対照	6.3×10^5	-	-	6.3×10^5		対照				
レジオネラ	検体	2.3×10^7	5.0×10^5	1.6×10^3	<100	レジオネラ	検体				
	対照	2.3×10^7	-	-	-		対照				
リステリア	検体	6.5×10^5	<10	<10	<10	リステリア	検体				
	対照	6.5×10^5	-	-	6.1×10^5		対照				

除菌効果 II (緑膿菌 / サルモネラ / 黄色ブドウ球菌 / MARA)

抗菌力試験結果

試験菌	対象	生菌数 (/ml)				試験菌	対象	開始時	15 秒後	30 秒後	1 分後
		開始時	15 秒	30 秒	1 分						
緑膿菌	検体	1.1×10^5	<10	<10	<10	緑膿菌	検体				
	対照	1.1×10^5	-	-	1.1×10^5		対照				
サルモネラ	検体	6.8×10^5	<10	<10	<10	サルモネラ	検体				
	対照	6.8×10^5	-	-	6.7×10^5		対照				
黄色ブドウ球菌	検体	3.2×10^5	30	<10	<10	黄色ブドウ球菌	検体				
	対照	2.3×10^7	-	-	-		対照				
MRSA	検体	1.4×10^6	<10	<10	<10	MRSA	検体				
	対照	1.4×10^6	-	-	1.0×10^6		対照				

除菌効果 III (表皮ブドウ球菌 / レンサ球菌 / 腸炎ビブリオ)

抗菌力試験結果

試験菌	対象	生菌数 (/ml)				試験菌	対象	開始時	15 秒後	30 秒後	1 分後
		開始時	15 秒	30 秒	1 分						
表皮ブドウ球菌	検体	7.3×10^5	2.3×10^5	10	<10	表皮ブドウ球菌	検体				
	対照	7.3×10^5	-	-	7.7×10^5		対照				
レンサ球菌	検体	6.7×10^5	<10	<10	<10	レンサ球菌	検体				
	対照	6.7×10^5	-	-	5.8×10^5		対照				
腸炎ビブリオ	検体	4.6×10^5	<10	<10	<10	腸炎ビブリオ	検体				
	対照	4.6×10^5	-	-	4.9×10^5		対照				

除菌効果 IV (O-157 / ノロウイルス)

抗菌力試験結果

試験菌	対象	生菌数 (/ml)				試験菌	対象	開始時	15 秒後	30 秒後	1 分後
		開始時	15 秒	30 秒	1 分						
大腸菌 O-157 ベロ毒素産生株	検体	1.3×10^5	<10	<10	<10	大腸菌 O-157 ベロ毒素産生 株	検体				
	対照	1.3×10^5	-	-	1.3×10^5		対照				
試験菌	対象	生菌数 (/ml)				試験菌	対象	開始時	15 秒後	30 秒後	1 分後
		開始時	15 秒	30 秒	1 分						
ノロウイルス (ネコカリシウイルス)	検体	3.2×10^6	<32	<32	<32	ノロウイルス (ネコカリシウイ ルス)	検体	ノロウイルスは、写真撮影出来ない。			
	対照	3.2×10^6	-	-	3.2×10^6		対照				

- ①人体に影響を及ぼす食中毒菌・耐性菌・ノロウイルス等に対し、噴霧後、15 秒から 1 分以内に、対象物の構成タンパクを不活性化(殺菌)させることが確認できた。
- ②セレウス(芽胞)・枯草菌・カビ・酵母には、あまり効果がなかった。
- ③安全性試験(急性および眼・皮膚の刺激性)においては、人体への影響が全くないことが実証された。

除菌効果 V (パルボウイルス / 豚伝染性胃腸炎ウイルス / インフルエンザウイルス)

表 1. 安定型複合塩素除菌消臭剤の犬パルボウイルスに対する不活化効果試験

試験群	試験の 繰り返し	感作時間とウイルス含有量の推移		
		0	1	3(分)
対照群	1	5.5	6.25	5.75
	2	5.5	5.25	5.5
	3	6	6	5.75
	平均値	5.7	5.8	5.7
10 倍希釈 試験液	1	2.75	≦ 1.50	≦ 1.50
	2	3.5	≦ 1.50	≦ 1.50
	3	3	≦ 1.75	≦ 1.50
	平均値	3.1	≦ 1.6	≦ 1.5
15 倍希釈 試験液	1	3	≦ 1.50	≦ 1.50
	2	3.75	≦ 1.50	≦ 1.50
	3	3.5	≦ 1.50	≦ 1.50
	平均値	3.4	≦ 1.5	≦ 1.5
	LRV	2.6	≧ 4.2	≧ 4.2
	LRV	2.3	≧ 4.3	≧ 4.2

ウイルス含有量は、試料 1mL あたりの値を対数変換して記載した。

表 2. 安定型複合塩素除菌消臭剤の豚伝染性胃腸炎ウイルスに対する不活化効果試験

試験群	試験の 繰り返し	感作時間とウイルス含有量の推移		
		0	1	3(分)
対照群	1	5.5	5	5.25
	2	5.5	5.5	5.5
	3	5.25	5.25	5.75
	平均値	5.4	5.3	5.5
10 倍希釈試験液	1	≦ 1.50	≦ 1.50	≦ 1.50
	2	≦ 1.50	≦ 1.50	≦ 1.50
	3	≦ 1.50	≦ 1.50	≦ 1.50
	平均値	≦ 1.5	≦ 1.5	≦ 1.5
15 倍希釈試験液	1	≦ 1.50	≦ 1.50	≦ 1.50
	2	≦ 1.50	≦ 1.50	≦ 1.50
	3	≦ 1.50	≦ 1.50	≦ 1.50
	平均値	≦ 1.5	≦ 1.5	≦ 1.5
	LRV	≧ 3.9	≧ 3.8	≧ 4.0
	LRV	≧ 3.9	≧ 3.8	≧ 4.0

ウイルス含有量は、試料 1mL あたりの値を対数変換して記載した。

表 3. 安定型複合塩素除菌消臭剤のインフルエンザウイルスに対する不活化効果試験

試験群	試験の 繰り返し	感作時間とウイルス含有量の推移		
		0	1	3(分)
対照群	1	3.5×10^4	1.4×10^5	1.0×10^5
	2	6.0×10^4	9.0×10^4	6.0×10^4
	3	8.0×10^4	8.5×10^4	1.1×10^5
	平均値	5.83×10^4	1.05×10^5	9.00×10^4
	対数変換値	4.77	5.02	4.95
10 倍希釈試験 液	1	< 102	< 102	< 102
	2	< 102	< 102	< 102
	3	< 102	< 102	< 102
	平均値	< 102	< 102	< 102
	対数変換値	< 2.00	< 2.00	< 2.00
15 倍希釈試験 液	1	< 102	< 102	< 102
	2	< 102	< 102	< 102
	3	< 102	< 102	< 102
	平均値	< 102	< 102	< 102
	対数変換値	< 2.00	< 2.00	< 2.00
	LRV	> 2.8	> 3.0	> 3.0

ウイルス含有量は、試料 1mL あたりの値を対数変換して記載した。

パナセアは「病院・クリニック」「介護施設」「食品加工場」「飲食店」「一般家庭」「学校」「ペット / 飼育動物関連」などで困っている、各種ウイルス・細菌類を 15 ~ 60 秒ほどで除菌することができます。

パナセア® とその他競合製品との機能性比較

	除菌時間	除菌能力	消臭効果	非金属腐食性	非漂白性	非可燃性	有毒ガス抑制	刺激臭抑制	無揮発性	品質安定性	環境安全性	空中噴霧	耐性菌の抑制
新パナセア®	◎	◎	◎	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
アルコール製品	○	○	×	◎	◎	×	×	×	×	○	×	×	×
二酸化塩素製品	◎	◎	×	×	×	△	×	×	×	×	×	×	○
次亜塩素酸製品	◎	◎	△	×	×	○	×	×	×	×	×	×	○
弱酸性次亜塩素酸製品	◎	◎	△	×	×	○	△	△	×	△	△	△	○

- ・アルコール製品は60%～85%以外のアルコール度数での殺菌能力は殆どありません。また、アルコール製剤はノロウイルスの除菌は不可です。
- ・二酸化塩素の特徴は強力な殺菌能力を有していますが、強力な酸化力により金属・家電類を腐食させ、強烈な刺激臭と有毒ガスを発生し、繊維製品を漂白します。国連規制で強力な金属腐食作用から民間航空機には積載禁止となっています。また製品比較表には取り上げていませんが、安定化二酸化塩素(水成二酸化塩素)の殺菌力は殆どありません。殺菌力を持たせるには、液剤に酸を添加して10時間以上おいて、二酸化塩素に変換する必要があります。
- ・「パナセア®」は従来の次亜塩素酸ナトリウム製剤と違って品質劣化は殆どありません。冷蔵所保存で2年間その有効塩素濃度を98%保持できます。また、金属腐食は水と同程度、漂白、刺激臭などについても問題なく安心・安全です。

新パナセア® 弱酸性次亜塩素酸製剤との違い

		1週間後	2週間後	4週間後	2ヶ月後
塩素濃度	新パナセア®	100%	100%	100%	100%
	弱酸性次亜塩素酸ナトリウム	87%	46%	31%	15%以下
除菌力	新パナセア®	◎	◎	◎	◎
	弱酸性次亜塩素酸ナトリウム	◎	△	×	×
消臭力	新パナセア®	◎	◎	◎	◎
	弱酸性次亜塩素酸ナトリウム	◎	△	×	×
pH値	新パナセア®	pH10	pH10	pH10	pH10
	弱酸性次亜塩素酸ナトリウム	pH5~6	pH4	pH3	pH3
空中噴霧	新パナセア®	◎	◎	◎	◎
	弱酸性次亜塩素酸ナトリウム	◎	△	×	×
非金属腐食	新パナセア®	◎	◎	◎	◎
	弱酸性次亜塩素酸ナトリウム	◎	△	×	×
非漂白性	新パナセア®	◎	◎	◎	◎
	弱酸性次亜塩素酸ナトリウム	◎	△	×	×
原材料	新パナセア®	次亜塩素酸ナトリウム + 高純度 RO イオン逆浸透膜水			
	弱酸性次亜塩素酸ナトリウム	次亜塩素酸ナトリウム + 希塩酸 + クエン酸 + 水			
除菌効果	新パナセア®	エビデンスあり。pH10の弱アルカリ性で安定した製剤により、OCL イオンの酸化分解力に加え、水酸化イオンの加水分解力も付加され、その効果が長期間安定。			
	弱酸性次亜塩素酸ナトリウム	平均 pH6 の弱酸性。HOCl 最大値による除菌効果を訴求。しかしながら4週間行こうは pH3.5 に変化。この訴求は極めて不適当であると考えます。			



結論

弊社見解を述べますと、弱酸性次亜塩素酸ナトリウム製剤は極めて危うい特徴を保持しているため、はんぱいを自粛するべき製剤と判断しています。実際に病院や医療施設で使用して、1ヶ月ごとに金属腐食やその他の問題なども発生しているのが現状です。パナセアは弱酸性次亜塩素酸ナトリウム製剤やその他競合製品と完全に差別化された商品であり、安心してお使いいただける唯一の製剤と考えます。

パナセア® と弱酸性次亜塩素酸製剤との機能性比較<塩素濃度追跡調査>

弱酸性次亜塩素酸ナトリウム製剤

未開封の状態でも短期間で塩素濃度(除菌能力)は1/3まで激減し、液性が強酸へ変質します。変質後に於ける空間などへの噴霧は大変危険を伴います。(塩素ガス/トリハロメタン/金属腐食/漂白/その他)

製品名 : 弱酸性次亜塩素酸
 設定濃度 : 100ppm pH6.0
 製造日 : 2011年8月11日(ボトルの裏面に日付けが貼り付けられていた。凹面でコピー不能)

測定日	残留塩素濃度 (mg/L)	
2011年10月31日	31.0mg/L	
	31.7mg/L	
	30.6mg/L	
	31.3mg/L	pH6.0
2019年11月21日	9.51mg/L	
	8.61mg/L	
	8.76mg/L	塩素濃度 △72%
	8.89mg/L	
2011年11月24日	8.70mg/L	pH3.55
	7.39mg/L	塩素濃度 △74%
	7.28mg/L	
	8.07mg/L	pH3.53

何も測定後密閉を保った。
 残留塩素濃度が3ヶ月で10分の1以下に、pHも強酸性に反応しており金属類への腐食作用が発生します。

報告書作成日 : 2011年11月24日

パナセア

1年経過しても塩素濃度(除菌能力)を99.9%保持し、液性も弱アルカリ性(pH10)のまま変質せず、最終的に水になります。

安定型次亜塩素酸製剤 安定性試験結果(速報)

受付 No.172-09-1-0256 財団法人 化学物質評価研究機構

測定回	測定日	Lot	残留塩素 (mg/L)	残留塩素 平均値 (mg/L)
1	2009年8月20日	n=1	1/12	42.2
		n=2	1/12	42.2
		n=3	1/12	42.2
2	2009年9月18日	n=1	2/12	41.7
		n=2	2/12	41.7
		n=3	2/12	41.7
3	2009年10月20日	n=1	3/12	41.5
		n=2	3/12	41.5
		n=3	3/12	41.5
4	2009年11月18日	n=1	4/12	41.3
		n=2	4/12	41.3
		n=3	4/12	41.3
5	2009年12月18日	n=1	5/12	41.1
		n=2	5/12	41.2
		n=3	5/12	41.1
6	2010年1月20日	n=1	6/12	41
		n=2	6/12	41
		n=3	6/12	40.9
7	2010年2月19日	n=1	7/12	40.9
		n=2	7/12	40.9
		n=3	7/12	40.8
8	2010年3月19日	n=1	8/12	40.6
		n=2	8/12	40.7
		n=3	8/12	40.7
9	2010年4月20日	n=1	9/12	40.6
		n=2	9/12	40.6
		n=3	9/12	40.6
10	2010年5月20日	n=1	10/12	40.2
		n=2	10/12	40.3
		n=3	10/12	40.2
11	2010年6月18日	n=1	11/12	39.9
		n=2	11/12	39.9
		n=3	11/12	39.8
12	2010年7月20日	n=1	12/12	39.8
		n=2	12/12	39.8
		n=3	12/12	39.8
13	2010年8月20日	n=1	1/12	39.7
		n=2	2/12	39.6
		n=3	3/12	39.7

アルコール製剤に関する効果分析

除菌能力について

アルコールの最大殺菌濃度は76.9～81.4%であり、60%以下85%以上の濃度では、殺菌力は殆どありません。アルコール剤の効果がない最近芽胞（一部の細菌が形成する極めて耐久性の高い細胞構造）を形成する細菌であり、炭疽菌や破傷風菌の他、食中毒の原因になるセレウス菌やボツリヌス菌、ウェルシュ菌などが有名です（その他、枯草菌や納豆菌など）。これらの細菌やウイルスは薬剤に対する抵抗力が非常に強い為にアルコールでの除菌や消毒の効果は期待できません。効果が薄いウイルスとしてはエンベロープ（約80%ウイルスが持つ膜状の構造で、熱や薬剤によって容易に破壊される）を有しないノロウイルスやロタウイルス、手足口病やヘルパンギーナを引き起こすエンテロウイルス。アデノウイルス感染症を引き起こすアデノウイルスなどが有名です。

除菌能力について

アルコールの中で生存できる細菌というのは意外に多く存在します。特に食中毒の主たる原因であるノロウイルスに対して効果がないことは幅広く認知されています。アルコールは医療現場で非常に多く使用されていますから、徐々にアルコールに耐性を持つようになった細菌も増えているようです。また、アルコール綿を作り置きしているような場合には、アルコールが蒸発して濃度が低下している場合もあります。特にこのようなアルコール綿の入れ物の中では、アルコールに耐性を持った細菌が繁殖している、という報告があります。

使用上の注意

- ・アルコールには非常に強い粘膜刺激性があるので、皮膚が弱い方は炎症を起こす可能性があります。
- ・可燃性があるため、厨房などの火の周りでの取扱いには十分に注意が必要です。
- ・刺激臭が強いため、空間に噴霧することができません。
- ・細菌ウイルスに有効な濃度の幅が非常に狭い為、除菌したい物が濡れていると水分が混ざり濃度が低下し、効果が著しく落ちてしまいます。
- ・合成ゴム製品、合成樹脂製品、光学器具、鏡器具、塗装などの中には変色する物もあるので注意する事。

花粉対策データ

「パナセア」は花粉症の要因の1つである「スギ花粉アレルゲン」を88.2%除去します！

試験結果速報	
結果	精製水および安定型次亜塩素酸ナトリウムと反応後のスギ花粉アレルゲンCry j1濃度はそれぞれ105.64ng/ml、12.49ng/mLであった。
まとめ	安定型次亜塩素酸ナトリウムと反応後のスギ花粉アレルゲンCry j1濃度は、純水と反応後のそれと比較し、低減率が88.2%であった。

【Cry j1】【Cry j1 一次抗体試験】TEA 株式会社
設定濃度：100 ng/ml実測値：98.55 ng/ml試験実施：小山

サンプル名	No.	アレルゲン濃度 (ng/mL)	対照に対する低減率 (%)	サンプル名	希釈倍率	OD 値 (450－620nm/m)	対照との差 (OD 値) * 1	対照との差 (OD 値) * 2
対照：精製水	1	102.59	-	対照：精製水	× 2	0.804	-	-
	2	111.14			× 6	0.752		
	3	103.18			× 18	0.685		
	average	105.64		安定型次亜塩素酸ナトリウム	× 2	0.471	-0.333	-41.4
	SD	4.78			× 6	0.682	-0.069	-9.2
安定型次亜塩素酸ナトリウム	1	13.7	88.2	× 18	0.721	0.036	5.2	
	2	11.85		* 1 【対象との差 (OD 値)】 = [加工品の OD 値] - [対照の OD 値]	* 2 【対象との差 (%)】 = [対象との差 (OD 値)] / [対照の OD 値] × 100			
	3	11.93						
	average	12.49						
	SD	1.05						

一次抗体試験について

- ・試料または対照とアレルゲン溶液の溶媒のみを混合し一定時間反応させ、得た試料を2倍、6倍、18倍に希釈してELISAの測定ウェルに添加しました。
- ・抗体へのダメージが小さい試料では「対照との差 (OD 値)」が0に近く、ダメージの大きい試料では「対照との差 (OD 値)」が負の値となり、なおかつ希釈倍率が低い程絶対値が大きくなる傾向があります。
- ・今回の実験において、希釈倍率2倍においては、「対照との差 (%)」が-41.4%であり、サンプルは一次抗体に影響を及ぼしていると考えられました。希釈倍率6倍、18倍においては、「対照との差 (%)」が一般的なELISAの測定誤差範囲内(±10%以内)であると考えられたため本試験におけるアレルゲン濃度測定は6倍、18倍希釈にて行いました。

ダニアレルゲン対策データ

「パナセア」はアトピー性皮膚炎、シックハウス症候群の要因の1つである「ダニアレルゲン」を84.9%除去します！

試験結果速報		
【ダニアレルゲン Der F 1】	【坑 Der F 1 一次抗体試験】	TEA 株式会社
設定濃度：100 ng/ml	実測値：115.55 ng/ml	試験実施：小山

サンプル名	No.	アレルゲン濃度 (ng/mL)	対照に対する低減率 (%)	サンプル名	希釈倍率	OD 値 (450－620nm)	対照との差 (OD 値) * 1	対照との差 (OD 値) * 2
安定型次亜塩素酸ナトリウム	1	17.69	84.9	対照：精製水	× 2	0.424	-0.071	-14.36
	2	12.84			× 6	0.501	0.009	1.83
	3	9.03			× 18	0.506	-0.06	-10.53
	average	13.19			× 54	0.508	-0.045	-8.05
	SD	4.34						
対照：精製水	1	89.46	-	× 2	0.495			
	2	90.85		× 6	0.492			
	3	82.15		× 18	0.565			
	average	87.49		× 54	0.553			
	SD	4.68						

* 1 【未加工品との差 (OD 値)】 = [加工品の OD 値] - [未加工品の OD 値]

* 2 【未加工品との差 (%)】 = [未加工品との差 (OD 値)] / [未加工品の OD 値] × 100

一次抗体試験について

- ・サンプルをバッファーに1分間浸漬し、得た試料を2倍、6倍、18倍、54倍に希釈してELISAの測定ウェルに添加した。
- ・抗体へのダメージが小さい試料では、「未加工品との差 (OD 値)」* 1が0に近く、ダメージの大きい試料では、「未加工品との差 (OD 値)」* 1が負の値となり、なおかつ希釈倍率が低い程絶対値が大きくなる傾向がある。
- ・今回の実験においては、
 1. 安定型次亜塩素酸ナトリウムと反応後の試料の希釈倍率2倍におけるOD値は「対照との差 (%)」* 2が-14.36%であり、希釈倍率2倍において、安定型次亜塩素酸ナトリウムが坑 Der f 1 一次抗体に与える影響の大きさは対照のそれと比較して大きいと考えられた。
 2. 安定型次亜塩素酸ナトリウムと反応後の試料の希釈倍率6倍、16倍、84倍におけるOD値は「対照との差 (%)」* 2が±10%程度以内であり、これは一般に言われるELISAの測定誤差範囲内と考えられたため、当該希釈率において安定型次亜塩素酸ナトリウムが坑 Der f 1 抗体に与える影響の大きさは対照のそれと同程度であるとみなし、本試験においては当該倍率にて測定をおこなうこととした。

まとめ	試料「安定型次亜塩素酸ナトリウム」および対照「精製水」にダニアレルゲン溶液を終濃度100ng/mlになるよう混合し、室温で1分間攪拌しながら反応させ反応後のダニアレルゲン Der f 1 濃度をSandwich ELISAにて測定した。安定型次亜塩素酸ナトリウム、精製水と反応後のアレルゲン溶液の Der f 1 濃度はそれぞれ13.19ng/ml、87.49ng/mlであった。安定型次亜塩素酸ナトリウムと反応後アレルゲン溶液の Der f 1 濃度の、精製水と反応後のそれに対する低減率は、84.9%であった。
-----	---

Q&A

- | | | |
|--|--|---|
| Q 「パナセア®」と従来品との違いは？ | Q 「パナセア®」は、調理器具などへの除菌はできますか？ | Q 「パナセア®」は空中のウイルス・細菌を除菌できますか？ |
| A 以下の特徴が従来品との大きな違いです。 <ul style="list-style-type: none">●有効塩素濃度を長期間保持します。●長期安定的な除菌・消臭力があります。●金属腐食、漂白性、引火性がなく、安心してご使用できます。 | A できます。従来の次亜塩素酸製品、アルコール製剤では不可能な調理器具への直接噴霧により、付着しているウイルス・細菌・バクテリアなどを除菌します。 | A できます。空中浮遊のウイルス・細菌類を15～60秒で除菌します。(除菌率99.9%)同時に強力な消臭効果があります。 |